

もののれ〜る 42号



平成 25 年 11 月 15 日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸

要望活動を行いました

平成25年11月5日

多摩都市モノレールの延伸には、東京都が事業化を決定することが必要になることから、平成2年度から毎年、東京都知事に対して、延伸の要望活動を行っています。

今年も、東大和市長及び瑞穂町長とともに、藤野市長が藤井都技監（都市整備局長兼務）に要望書をお渡ししました。



要望書（抄）



多摩都市モノレールにつきましては、平成24年度は1日平均で平成12年の開業以来過去最高となる12万5千人を超える利用がありました。また、日頃からウォーキングイベントをはじめとした沿線でのイベントを積極的に展開するなど、地域住民にとって重要であり、かつ、親しみのある交通機関として定着しております。

そのような中、平成12年の運輸政策審議会答申第18号において、「2015年までに整備することが適当である路線」に位置付けられている上北台から箱根ヶ崎間の沿線に存する東大和市、武蔵村山市及び瑞穂町では、自立した都市として持続的な発展を図るために、東大和市における地区計画の検討や武蔵村山市における都市核土地地区画整理事業の施行、瑞穂町における殿ヶ谷地区画整理事業など新青梅街道沿道のまちづくりに積極的に取り組んでいるところであります。

低炭素型都市構造の構築や来るべき超高齢社会における高齢者の移動手手段の確保等を図るためには、軌道系公共交通の整備が必要不可欠と考えます。

沿道市町においては、先に述べたとおり、商業をはじめ医療、文化及び交流など都市の枢要な機能が発揮されるようモノレール延伸に向けた地域環境を整えておりますので、東京都におかれましても、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸に向け、最大限の努力により、1日も早く事業化を図られることを要望いたします。

MMシャトル&モノレールでGO!

第8回村山デエダラまつりで「MMシャトル&モノレールでGO!」ブースを出展しました。



1日目の10月26日(土)は、台風接近のために中止となり、残念ながら、山車の運行など、多くのプログラムが取りやめられてしまいました。

2日目の27日(日)は、強風ながらも、台風一過の晴天でした。そのような天候の中、多くの方にいらしていただき、ありがとうございました。



「モノレールを呼ぼう!市民の会」では、恒例となった「大抽選会」を行い、2,000名の方に抽選券を配布していました。メインステージでは、「モノレール!ダンスディライト」が行われ、最後には、舞台と観客席が一体となり、武蔵村山市とモノレールをイメージしたダンスが踊られました。



デエダラまつりに出展した「MMシャトル&モノレールでGO!」の展示物で、パネル展を行います。MMシャトルに乗って行くことのできる市内の見どころ、4月に変更になった新しいバスルートやお得な利用方法を紹介します。また、多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の推進状況、7月に募集した懸垂幕に標記するキャッチフレーズの応募全作品を展示します。

デエダラまつりに行けなかった方、見逃した方、チャンスです!

日時 **12月18日(水)~26日(木)** (市役所の開庁時間内)

場所 **市役所1階ロビー**

モノちゃん募金

10月27日(日)の村山デエダラまつりでモノちゃん(多摩都市モノレール)募金を行い、**11,623円**の募金をお預かりしました。

次は、11月16日(土)、17日(日)のFoodグランプリ(市役所第2市民駐車場で開催)で、街頭募金を行います。

皆さまのご支援・ご協力をお願いします。



10月31日までに集まった募金は、**78,661円**になりました。

延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「**みんなの願い!多摩都市モノレール延伸!!**」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。